



LINE公式アカウント
組合のお得な!
情報をゲットを
登録を
ぜひしま
願ひし



発行所
東京土建一般労働組合三鷹武蔵野支部
東京都三鷹市上連雀7-33-8
電話 0422(47)9101
Fax 0422(47)9104
発行責任者 竹内 敦



全員でプラカードを掲げる



東京都要請にも多くの仲間が



久しぶりデモ行進

集約要求 担い手三法 建設国保育成・強化も 訴える

2024年度秋の予算要求集会が11月21日に日比谷野外音楽堂で開催された。前回の集会では行われなかったデモ行進も行われ、私たち建設労働者の要求を多くの人に伝えることができました。

予算要求集会は支部から21人が参加しました。午前中は都庁第二庁舎前に集合し、東京都の各部署への予算要求行動を激励しました。集会には都議会議員も各会派から挨拶に訪れ、組合に対する議員の関心が深い事もわかりました。今後も多くの仲間が集会に参加し、数の力を議員に示すことに努めます。

午後には日比谷野外音楽堂で集会が始まりました。全国の組合から仲間が集まり、私たち建設労働者の賃金・単価引き上げと、建設国保の育成強化を求めて団結しました。集会には各政党から国會議員も訪れ、私たちの要求実現に向けて尽力すると発言がありました。大会終了後は日比谷公園から東京駅までの、約2kmをデモ行進しました。大きなシュプレヒコールをあげて、通行中の市民に向けて私たち建設労働者の主張を伝えました。沿道には今までよりも外国人の姿が多く、デモ行進を撮影する様子も見られました。

予算要求集会は年間2回行われており、私たちの要求を国と都に伝える重要な運動です。今まで参加したことが無い仲間もぜひ来年参加してください。今後さらに多くなっていくことが望ましい。▼米国ではトランプ氏が大統領に返り咲く事となった。「米国第一主義」を掲げ、貿易赤字の削減等への制裁として、輸入品に1〜2割の関税を乗せそう。日本にも在日米軍の費用負担増や防衛費増を求めてくる可能性がある。▼地方では兵庫県知事選挙が行われた。パワハラ疑惑のある斉藤知事が再選し、県議会や職員との信頼関係再構築について、日々の業務を通じて一緒にやっていく事が大事と語っている。▼選挙が終われば求められるのは結果である。私たちが暮らしやすい世の中になる事を望む。

雑記 林

今年も日本でも世界でも選挙戦が繰り広げられた。岸田首相が退陣し、石破氏が自民党総裁となり行われた解散総選挙は、結果として自公与党は議席を減らし、過半数割れとなった。その中で存在感を増したのは国民民主党だ。年収103万円の壁引き上げと、ガソリン減税を強く求め、与党が議決に必要な過半数を獲得するためのキャスティングボードを握った。ただ、連立には加わらないので、与党は綱渡りの政権運営を行っていく事となる。議員の内訳も注目値する。女性議員の割合が全体の15.7%となり、過去最多となったそう。ただ、諸外国と比べるとまだまだ少なく、今後さらに多くなっていくことが望ましい。▼米国ではトランプ氏が大統領に返り咲く事となった。「米国第一主義」を掲げ、貿易赤字の削減等への制裁として、輸入品に1〜2割の関税を乗せそう。日本にも在日米軍の費用負担増や防衛費増を求めてくる可能性がある。▼地方では兵庫県知事選挙が行われた。パワハラ疑惑のある斉藤知事が再選し、県議会や職員との信頼関係再構築について、日々の業務を通じて一緒にやっていく事が大事と語っている。▼選挙が終われば求められるのは結果である。私たちが暮らしやすい世の中になる事を望む。

東日本大震災から13年 私たちが組合は何ができるのか

【組織部発】昨年に引き続き福島県への視察を行い、参加者は14人でした。東日本大震災・福島第一原発事故から13年が経過し、被災地・被災者への関心は風化していません。そんな中私たちは被災者に寄り添い何が出来るのか。視察行動で見えてくるものがあります。

三鷹から出発してバスに揺られること約3時間、福島県に到着しました。初日は昼食を小名浜にある「ららみゅー」で取りました。原発から約60km離れた小名浜は活気に溢れていて、外国人を含む観光客や地元住民が楽しそうに海産物を食べ、写真の撮影



県外からの旅行者も多くいました



をしていました。私は原発事故後福島に来るのは初めてで、復興が進んでいると、この時は感じました。昼食後はいわき震災伝承未来館にて当時の津波について学習、震災時に学生だった小野さんが語り部として津波の恐ろしさを伝えてくれました。

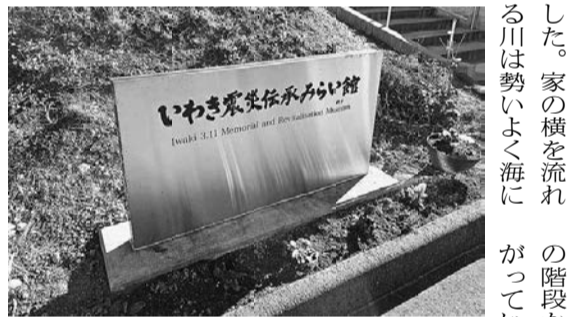
あの日の後悔伝えたい 津波の恐怖と教訓続く道

震災の日

当時は20歳の学生で、豊間という地区の川の近くにある戸建てに住んでいました。海沿いの町は本来砂浜、防災林・住宅地という形状でしたが、戦後の住民増加に伴って私の家は防災林よりも海側にありました。あの日は祖母と家について、大きな揺れに襲われました。震度6強の揺れは3分10秒に渡り、家の中は揺れでぐちゃぐちゃになりました。テレビを付けると大津波警報がでていて3mの高さが来ると。3時10分になると6mに引き上げられました。間違いない。津波が来



参加した役員



に引き波が始まりました。家の横を流れる川は勢いよく海に

る。「ばあちゃん津波が来るからにげっぺ」祖母に避難を促しました。「俺は逃げねえ。腰痛くて歩くのつれえ」「どうせ死ぬなら家の中で死にたい」と言っていました。海沿いの町は本来砂浜、防災林・住宅地という形状でしたが、戦後の住民増加に伴って私の家は防災林よりも海側にありました。あの日は祖母と家について、大きな揺れに襲われました。震度6強の揺れは3分10秒に渡り、家の中は揺れでぐちゃぐちゃになりました。テレビを付けると大津波警報がでていて3mの高さが来ると。3時10分になると6mに引き上げられました。間違いない。津波が来

初めて見た海の顔

「ああ磯がある」昔の人は知っていたそうですが、生まれて初めて家の前の海に磯があること、なぜ遊泳禁止だったのかを知りました。それ程強い引き波でした。テレビでは仙台の町が津波に襲われています。避難しなかった事に不安を覚えながら窓の外を見ていると、波がやってきました。あつという間に防潮堤を越えて水しぶきが2階に吹き込んできました。慌てて窓を閉めようとしたが、間に合いませんでした。家の階段からも水しぶきが上がっていて、1階も浸水している状況です。1分後には2階の床上に水が達してしまいました。水は勢いよく2階の窓から侵入してきます。どうしようもありません。2階の奥にあった台所まで流れました。そのころには自分のへその高さまで水が、一緒にいた



津波が引いてから1時間後、私は家から動けませんでした。しかし一人の男性

命繋ぐ救いの手

が犠牲になりました。



引き取りての居ない遺留品

後悔と今の活動

私は家の2階に避難をしました。垂直避難と言えませんが、地震から津波まで40分の時間がありました。そんな中では



資料を読み込む参加者

私は自宅の2階で映像を撮っていました。後悔しかありません。こんな自分が生きていて良いのかと何度も思いましたが、今こうして悔しさをバネに同じ真似はしないで欲しいと伝える活動をしています。元々の家から西の高台に家を買って、生活を始めてから6年になります。家の後ろはさらに高台となっていて避難ができる公園も整備されており、何かあったらすぐに避難するように心がけています。毎年11月には地域で避難訓練を行い、防災への意識を忘れないように心がけています。

私が皆様にお伝えしたいことはただ一つです。少しでも「おかしいな」と思ったら一早く逃げてくださいます。逃げて助かった先には必ず道が続いています。いわき震災伝承未来館の見学後は塩屋崎の灯台を見学し、一日目は終了しました。(三面へ続く)

原発周辺 人の気配無く 目立つ廃墟 空き地はススキの原野

2日目は浜通り医療生協より島田さんをガイドに迎えて、原発周辺の帰宅困難区域および避難指示が解除された特定復興再生拠点区域などを視察。前日の賑わいからうって変わって静まり返っており、町に溢れる空き家と空き地。そして伸び放題のススキ野原が広がっていました。原発周辺の復興は始まってすらいない現状を目の当たりにしました。

復興にできる事

原発周辺では最初に東日本大震災・原子力災害伝承館に向かいました。ここでは震災当時の写真や復興への道のり、原子力災害に遭った方によるお話しなどを聞くことができました。この日お話しをされた安部さんは地元の農家であり、震災によって農地は利用できなくなってしまうこと、避難先の仮設住宅にこもりがちになり、何人も友達が亡くなった事を語りました。ただ、農地の復活に向けて、東京農工大学と共に「菜の花プロジェクト」に取り組んでいる事、語り部活動によって震災を広げて行く運動を行っている事を話してくれました。講



双葉町の原発周辺は空き地が広がる



PAにあったモニタリングポスト 原発近くは線量が高い



東京へ延びる送電線

いきました。ほぼ100%が原発で作業する東京電力の従業員だそうです。この近辺には全国各地から集めた復興特別所得税を使用した建設した

「原発の火は消えず」次に宝鏡寺というお寺へ行きました。こちらには伝言館という施設があり、故早川住職が私費で設立した施設です。原発事故はもたらんこと、広島長崎への原爆投下、第五福竜丸事件などの資料が展示してお

り、原子力の負の歴史を後世に伝えていきます。早川住職は福島に原発が作られる時から反対派として活動をしていた。事故前は賛成派から奇特な人であると思われていたが、原発は危ない、一度事故が起きたら二度と故郷に住めなくなってしまう。人は必ず間違えると訴えており、予想は残念ながら現実のものとなりました。事故後は国と東電との裁判において最前線に戦いました。廃炉作業に伴う廃棄物の受け入れについても自分の農地をいち早く提供し、地域の為に活動をした方です。残念ながら昨年亡くなられましたが、伝承館はその活動も克明に記録しています。



大勢の仲間が参加

【税金対策部発】11月29日(金)に武蔵野公会堂にて「インボイス制度反対!大勢の仲間が参加」を開催し、全体で39人が参加しました。第一部の学習会では東京南都会計より佐々木税理士を講師に迎え、インボイス制度について改めて、その複雑な内容や問題点をお話しいただきました。また、今回の衆議院選挙の結果にも触れ、インボイス制度に反対している政党が軒並み躍進した。これは私たちの民意に勢いがあり、制度の廃止に向けて野党連携が必要となる。その為には来年の参議院選挙にてインボイス制度廃止を掲げる政党が過半

数握ることが大事、運動を強めていく必要があるとの事でした。第二部ではこれまでの運動の経過と到達についてインボイス運動創設者の一人、フリーライターの小泉なつみさん、阿部税対部長のお二人から報告を頂きました。小泉さんから58万筆超を集約したインボイス制度反対のオンライン署名の成り立ちから現在までをお話しいただき、自身も仕事を貰う上位業者から値引きをお願いされた経験などを話されました。阿部部長からは支部の取組みについてお話しがありました。

視察の1日目は、活気に溢れた市場と商業施設を見たことから復興が進んでいる印象を受けました。2日目は浜通り医療生協の島田さんにガイドを依頼し、原発周辺の視察へ。浜通り医療生協は震災後に支部が行っていた木工教室や包丁研ぎ、巨大パンケーキの制作

線量計がPAに

宿泊先のいわき市から常磐自動車道に入り、四倉PAにて島田さんと合流して原発のある福島県東部へ移動しました。原発に近づくにつれて、高速道路路上やPAにも線量計が設置されており、初めて見る光景が

なとの取組でお世話になった福島との組合です。昨年の視察でもガイドを行っていただきました。

大熊町の交流ゾーンにて取りました。原発から西南に6kmの地点です。この交流ゾーンは周辺にアパートや新しい住宅が多く建て

「原発の火は消えず」次に宝鏡寺というお寺へ行きました。こちらには伝言館という施設があり、故早川住職が私費で設立した施設です。原発事故はもたらんこと、広島長崎への原爆投下、第五福竜丸事件などの資料が展示してお

り、原子力の負の歴史を後世に伝えていきます。早川住職は福島に原発が作られる時から反対派として活動をしていた。事故前は賛成派から奇特な人であると思われていたが、原発は危ない、一度事故が起きたら二度と故郷に住めなくなってしまう。人は必ず間違えると訴えており、予想は残念ながら現実のものとなりました。事故後は国と東電との裁判において最前線に戦いました。廃炉作業に伴う廃棄物の受け入れについても自分の農地をいち早く提供し、地域の為に活動をした方です。残念ながら昨年亡くなられましたが、伝承館はその活動も克明に記録しています。



視察の途中、富岡町夜の森地区にある「バウムハウスヨノモリ」に立ち寄りしました。ここは昨年の視察で発見したバウムクーヘン専門店です。オーナーは元々、富岡町で建築士事務所を営んでおり、地域の復興のためにお店をオープンしました。地元食材100%で作った米粉バウムクーヘンはグルテンフリーとなっています。私たちが入店する前から地元の方が続々と来店しており、人気のお店です。食べて応援をお願いします。TEL: 0240-23-5220 URL: https://yonomoribaum.theshop.jp/(オンラインショップ)

【税金対策部発】11月29日(金)に武蔵野公会堂にて「インボイス制度反対!大勢の仲間が参加」を開催し、全体で39人が参加しました。第一部の学習会では東京南都会計より佐々木税理士を講師に迎え、インボイス制度について改めて、その複雑な内容や問題点をお話しいただきました。また、今回の衆議院選挙の結果にも触れ、インボイス制度に反対している政党が軒並み躍進した。これは私たちの民意に勢いがあり、制度の廃止に向けて野党連携が必要となる。その為には来年の参議院選挙にてインボイス制度廃止を掲げる政党が過半

数握ることが大事、運動を強めていく必要があるとの事でした。第二部ではこれまでの運動の経過と到達についてインボイス運動創設者の一人、フリーライターの小泉なつみさん、阿部税対部長のお二人から報告を頂きました。小泉さんから58万筆超を集約したインボイス制度反対のオンライン署名の成り立ちから現在までをお話しいただき、自身も仕事を貰う上位業者から値引きをお願いされた経験などを話されました。阿部部長からは支部の取組みについてお話しがありました。

食べて応援 復興目指して 建築士手掛けるバウムクーヘン

視察の途中、富岡町夜の森地区にある「バウムハウスヨノモリ」に立ち寄りしました。ここは昨年の視察で発見したバウムクーヘン専門店です。オーナーは元々、富岡町で建築士事務所を営んでおり、地域の復興のためにお店をオープンしました。地元食材100%で作った米粉バウムクーヘンはグルテンフリーとなっています。私たちが入店する前から地元の方が続々と来店しており、人気のお店です。食べて応援をお願いします。TEL: 0240-23-5220 URL: https://yonomoribaum.theshop.jp/(オンラインショップ)



地元の方が続々と来店しており、人気のお店です。食べて応援をお願いします。

TEL: 0240-23-5220

URL: https://yonomoribaum.theshop.jp/(オンラインショップ)

野党連携で止められる 参院選が勝負

【税金対策部発】11月29日(金)に武蔵野公会堂にて「インボイス制度反対!大勢の仲間が参加」を開催し、全体で39人が参加しました。第一部の学習会では東京南都会計より佐々木税理士を講師に迎え、インボイス制度について改めて、その複雑な内容や問題点をお話しいただきました。また、今回の衆議院選挙の結果にも触れ、インボイス制度に反対している政党が軒並み躍進した。これは私たちの民意に勢いがあり、制度の廃止に向けて野党連携が必要となる。その為には来年の参議院選挙にてインボイス制度廃止を掲げる政党が過半

数握ることが大事、運動を強めていく必要があるとの事でした。第二部ではこれまでの運動の経過と到達についてインボイス運動創設者の一人、フリーライターの小泉なつみさん、阿部税対部長のお二人から報告を頂きました。小泉さんから58万筆超を集約したインボイス制度反対のオンライン署名の成り立ちから現在までをお話しいただき、自身も仕事を貰う上位業者から値引きをお願いされた経験などを話されました。阿部部長からは支部の取組みについてお話しがありました。

数握ることが大事、運動を強めていく必要があるとの事でした。第二部ではこれまでの運動の経過と到達についてインボイス運動創設者の一人、フリーライターの小泉なつみさん、阿部税対部長のお二人から報告を頂きました。小泉さんから58万筆超を集約したインボイス制度反対のオンライン署名の成り立ちから現在までをお話しいただき、自身も仕事を貰う上位業者から値引きをお願いされた経験などを話されました。阿部部長からは支部の取組みについてお話しがありました。

分会の仲間より

組合活動 大きな力 能登復興ボラ力注ぐ

今年4月の大会で副委員長に就任させていただき、約8ヶ月が経ちました。副委員長として色々と始めての経験をさせていただきました。その中での一つ目は、10月に横浜で行われた全建総連・定期大会への参加です。全国から建設業に従事する組合員が一同に集まり、初日はパシフィコ横浜の大ホールの座席が埋め尽くされた会場となりました。二日目は周辺の会議室を利用した分科会が開催され、三日目の最終日は大ホールにて決議。両日とも質疑応答では、提案や確認、報告など様々な発言がなされ、実りのある経験をさせていただきました。

南町分会の佐渡さんの二名の参加になりました。そして、急な要請にもかかわらず、皆様に賛同していただいた大事な募金は輪島市社会福祉協議会に手渡しすることができました。前夜に本部に集まり出発、翌早朝に現地入りし、人員・作業内容のマッチングを行い、装備を整えて出発します。

湾岸線には奥能登で有名な棚田「千枚田」があり、そこを超え東に車を走らせますが、道路は変則的な凹凸、急カーブや片側での交互通行になっていたりと、依然として普及工事中の悪路です。少し川幅のある橋を渡り、川沿いに沿って上流へ。海近く、下流付近の民家でさえ当時の豪雨の傷跡が残る建物も数件見受けられることができました。そこから車で10分ほど走った

ところの神社に車を止め、さらに徒歩で五分ほど支流を登ってやっと到着。作業内容は、砂泥の掻き出し。初対面の組合員が一丸となり同じ作業をこなします。当初は、瓦礫・泥・雑誌・家財道具など選別など戸惑いながらでしたが、慣れれば早い。軽トラ数杯分の砂・泥を撤去し、依頼者の希望に添える作業を終えることができました。

一人では少ししか進まない小さな力が、仲間を作り共に協力することで大きな力となり、成し遂げられるという共助の力をこの組織で勉強した活動となりました。そして、一日も早い復興を切に願います。



ボランティアに参加した二人



流木が川や道路に堆積

「地震でも被害は受けたが立ち直ろうとした矢先の土石流での被害被害は、心が折れて辛かった。だけど、皆さんがこうして来ていただけて、作業してくださったことで、頑張れる」との言葉は印象的でした。帰路のバス中での意見交換会にて参加された組合員からは、復興支援の



泥の掻き出し作業

たまには話題の映画でも

話題の新作映画を、ご家族で観に行きませんか。下記以外の映画も多数あります。ご注文は早めに(下記は一例)。

- 【映画券】
- ☆わたしに相応しいホテル【ムピチケカード】
- ☆ブルースの魂【ムピチケカード】
- ☆ピーキーパー【ムピチケカード】
- ☆劇場版孤独のグルメ【ムピチケカード】
- ☆366日【ムピチケカード】 など他多数
- ◇映画・イベントなど「メイジャー」のHPで検索してください。
- ※注文や問い合わせは、支部事務所0422-47-9101まで
- ※注：割引額は、前売の販売価格から一律500円です。

今月の資格講習

- ◇足場の組立等
 - 【講習日】1月16～17日
 - 【受講料】12,000円
- ◇型枠支保工の組立て等
 - 【講習日】1月21～22日
 - 【受講料】12,000円
- ◇コンクリート造の工作物解体等
 - 【講習日】2月6～7日
 - 【受講料】12,000円
- ◇有機溶剤
 - 【受講日】2月12～13日
 - 【受講料】12,000円
- ◇石綿
 - 【講習日】①2月5～6日
 - 【受講料】12,000円
- ◇酸欠硫化水素
 - 【講習日】1月21～23日
 - 【受講料】20,000円
- ◇職長安全衛生責任者教育
 - 【講習日】①1月28～29日
 - ②2月18～19日
- ◇職長安全衛生責任者 能力向上教育
 - 【講習日】2月5日
 - 【受講料】9,000円
- ◇保護員着用管理者
 - 【講習日】2月28日
 - 【受講料】15,000円
- ◇フルハーネス
 - 【講習日】2月13日
 - 【受講料】8,000円
- ◇低圧電気
 - 【受講日】1月28日
 - 【受講料】8,000円
- ◇巻上げ機
 - 【講習日】1月29～30日
 - 【受講料】14,000円
- ◇低圧電気、巻上げ機のセット講習もあります。
- ◇石綿特別教育
 - 【講習日】2月7～8日
 - 【受講料】17,000円
- ◇アーク溶接
 - 【講習日】2月26日
 - 【受講料】10,000円
- ◇自由研削砥石
 - 【講習日】2月17日
 - 【受講料】5,000円
- ◇自由研削砥石
 - 【講習日】2月18日
 - 【受講料】8,000円
- ◇丸のこ
 - 【講習日】2月19日
 - 【受講料】5,000円
- ◇熱中症
 - 【講習日】2月19日
 - 【受講料】4,000円
- ◇熱中症「自由研削砥石・丸のこ・熱中症」
 - 【講習日】2月19日
 - 【受講料】4,000円
- ◇熱中症「自由研削砥石・丸のこ・熱中症」セット講習あり
 - 【講習日】2月7～8日
 - 【受講料】17,000円
- ◇カス溶接
 - 【講習日】2月7～8日
 - 【受講料】17,000円
- ◇カス溶接
 - 【講習日】2月7～8日
 - 【受講料】17,000円
- ◇住宅リフォームエキスパート(総会案相談員)
 - 【講習日】2月26日
 - 【受講料】20,000円
- ◇小型移動式クレーン
 - 【講習日】2月20～22日
 - 【受講料】35,000円
- ◇会場 3日目は足立支部
 - 【講習日】1月23日
 - 【受講料】10,000円
- ◇車両系建設機械
 - 【講習日】1月23日
 - 【受講料】10,000円
- ◇整地等②解体③整地解体セット
 - 【講習日】1月31日～2月1日
 - ②2月2日
 - ③1月31日～2月2日
 - 【受講料】①39,000円
 - ②23,000円
 - ③60,000円
- ◇住宅リフォームエキスパート(総会案相談員)
 - 【講習日】2月26日
 - 【受講料】20,000円
- ◇新規30,000円 更新20,000円
 - 【講習日】1月22日～2月5日 毎週水曜全3回
 - 【受講料】30,000円
 - ◇建築士定期講習
 - 【講習日】1月23日
 - 【受講料】10,000円

会場の記載のないものは、東京士建技術研修センターです。申込みには、申込書・受講料・認印・顔写真(パスポートサイズ)1枚が必要です。申込書は講習日の2週間前までに支部必着です。

資格をとったら組合へ！ 資格講習共済の申請をしよう

組合では資格を取った仲間に対して祝い金が支給される制度があります。特別教育で3,000円、作業主任者で6,000円、技能士で10,000円、等が給付されます。(研修センターで受講した場合上乘せ給付あり)講習が終わったら修了証をもって組合へ申請に行きましょう！

東京建築カレッジ 第30期研修生募集！

新しい時代を担う建築のスペシャリストを養成する職業能力開発短期大学です。来年4月開校の生徒を募集しています。お問い合わせは支部または建築カレッジまで TEL:03-5950-1771

支部休館のお知らせ

下記の日程は支部事務所を閉めさせていただきます。みなさまのご理解・ご協力をお願いします。

- ◆12月26日(木)書記局会議
- ◆12月27日(午後)仕事納め
- ◆12月28日～1月5日 冬期休暇

